

平成21～22年度地域イノベーション創出研究開発事業（地域資源活用型）

木材樹皮抽出タンニンを用いた農薬及び環境浄化活性炭の研究開発

製材所や原木市場から発生する樹皮は、含まれる抗菌性成分タンニンの働きで腐敗が阻害され、堆肥化及び林地還元が困難とされ、廃棄処分の対象となっている。

一方で、タンニンは天然の抗菌性物質であり、高分子物質である。

本プロジェクトでは、製材所などの廃棄対象樹皮を原料に、タンニン抽出液を生産し、これより農業用殺菌剤、および高機能性活性炭製品を生産し販売する、新規林産事業の創出を目的とした研究開発を行う。

抽出残渣は生物発酵が容易となるため堆肥化・林地還元が可能となる、ゼロエミッション型事業の創出を目指す。

開発した商品は、本プロジェクト終了後、3年後には年間1億円の売上を目指す。

【研究メンバー】

株式会社TRES（※）

合同会社東研

国立大学法人佐賀大学

福岡工業技術センターインテリア研究所

（※）総括事業代表者（PM）の所属機関

【研究開発内容】

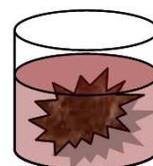


製材所等で発生する樹皮は抗菌性物質タンニンを含むため腐敗しにくく大半が焼却処分されている

タンニンは天然の抗菌剤・高分子物質 **未利用資源**

本研究開発 **樹皮抽出タンニンを用いた新規林産事業の創出**

樹皮を熱水抽出

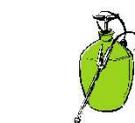


抽出残渣は生物発酵が容易
→堆肥化・林地還元

タンニン抽出液



タンニン製品



農業用殺菌剤



環境浄化活性炭
(球状樹脂活性炭)

【本研究テーマ内容に関する問い合わせ先】

(株)TRES（担当）福田 史恵

TEL 092-413-0117